

第5回 カリキュラムワーキング部会 議事録

日時： 平成29年6月28日（水） 17:30～19:10

場所： 医学部長室

出席者： 秀部会長、栗井、石田、鶉飼*、越智、栗栖、坂口、廣瀬*、松下各委員

欠席者： 安達、田中各委員

陪席者： 本間（参考人）、玉田主査（学生支援グループ）

（* 第5回ワーキング部会の委員として学生会から指名された委員）

審議事項

1) 教育プログラム評価委員会からの提言について

- ・ 松下委員より、教育プログラム評価委員会から提出された「教員からの教育に対するフィードバックおよび卒業生に対するアンケートの分析・評価結果報告ならびにこれを踏まえた提言」に関する説明があり、提言の内容についてカリキュラム委員会としてどう対応するか審議を行った。
- ・ 教員の評価については、栗井委員から、現在教員の教育活動にインセンティブを付ける制度の準備が進んでいる旨の指摘があった。教員の負担については、増員は現実的に困難なことから教員の負担を軽減させる方策として、かつて存在した学科事務員を医学科として再度配置できないかを検討することになった。
- ・ 学生に社会人としての素養が欠如している点については多くの委員から、各教員が問題に気付いた際にその都度学生に意識的に注意をすることで、学生に問題を気付かせることが重要との指摘があり、今後医学科として、態度面での指導を今以上に積極的に行うよう各教員に要請していくこととなった。廣瀬委員からは、特にあいさつ、服装、時間厳守の3点については、是非注意をして欲しいとの学生の立場からの意見があった。臨床実習においては、手術時のタイムアウトで見学学生が名乗るべきかどうか、診療科ごとに学生に指導することになった。
- ・ 英語教育については、英語によるプレゼンテーションの教育を9月の医学英語の集中講義に含めることを、坂口委員を中心に検討することになった。また、秀部会長より、臨床実習での総括を英語で行うことを全科統一的に実施してはどうかとの提案があり、医学科会議に諮ることになった。
- ・ 臨床実習の内容については、松下委員より、今年度から臨床実習終了時アンケートが開始され、各科の実習内容が把握されつつある旨の報告があり、その結果を待つて改めて対応を検討することになった。
- ・ 廣瀬委員より、クールビズ期間中の学生の服装について発議があり、委部会長からクールビズの服装で差支えない旨の意見があった。審議の結果、病院のクールビズ期間中は、クールビズに準じる服装で可とすることとなった。

2) MD-PhDコースの学生に関する共用試験の扱いについて

- ・ 鶉飼委員から議題の説明があり、続いて本間参考人から意見の陳述があった。次いで、委部会長から全国医学部長病院長会議の動向についての状況説明があった。審議の結果、今後全国医学部長病院長会議からの拘束力をもつ決定があった場合には、それ以降に入学する学生からはその決定に従わざるを得なくなる状況を理解したうえで、当面は、大学院を修了して復学してくるMD-PhDコースの学生については、CBT、OSCEとも再度の受験は免除するよう規則を改正することになった。